



受け継がれるお盆の伝統行事！

牟田ジャンガラ・星鹿ジャンガラ

◆牟田ジャンガラ

牟田ジャンガラは、星鹿町牟田地区で毎年8月15日に行われる別名「^{のぼり}幟さし」とも呼ばれ、市指定無形民俗文化財に指定されている盆行事です。

この行事は、疫病を退散させ、五穀豊穡を祈願する子どもたちの行事として大切に伝えられています。

この日は、天候不良により御厨様のお墓周辺に幟をかかげ、牟田公民館において開催されました。

参加した子どもたちは、「ハリナムホッポンジャホイホイホイ」と元気に大きな掛け声を上げながら、幟をかかげ、五穀豊穡を願うとともに先祖を供養しました。



◆星鹿ジャンガラ

星鹿ジャンガラは、星鹿町星鹿地区で毎年8月15日に行われる別名「^{のぼり}幟さし」とも呼ばれており、西浦・中北浦の2組に分かれ、それぞれ大幟と小幟を立てて浄土寺まで練り歩きます。

この行事は、市指定無形民俗文化財に指定されている盆行事で、疫病を退散させ、豊漁・豊作を祈願し、先祖の供養を行うものです。

この日参加した子どもたちは、つんぼう様の墓前で、元気よく叫びながら幟で塚を打ちました。浄土寺の境内では、大幟・小幟が大きく回ったり、大幟が坂道を疾走する様子に、地域のにぎわう声が響きました。



住民による地域おこし

柚木川内青龍の郷起工式

柚木川内キャンプ場近くに開設が計画されているヤマメの釣り堀「柚木川内青龍の郷」の起工式が8月21日、現地で行われました。

この事業は、柚木川内キャンプ場の利用客増加につなげようと、上志佐地域の住民たちで組織した柚木川内地域活性化協議会（川原純一会長）が主体となって取り組まれています。地域のシンボルである龍王の滝とその清流、東を守護する四神「青竜」の名前から命名され、地域を象徴する場所になって欲しいという願いが込められています。

川原会長は、「ここからがスタート。まずは工事が無事に終わり、地域に活力を生む場所となっていくことを願っています」と述べられました。



昨年に続き金賞を受賞！

長崎県吹奏楽コンクール

第62回長崎県吹奏楽コンクールが8月6日、長崎ブリックホールで開催され、本市からは松浦ウインドオーケストラ、松浦高等学校吹奏楽部、志佐中学校吹奏楽部、御厨中学校吹奏楽部が出場し、松浦ウインドオーケストラが見事金賞を受賞、松浦高等学校吹奏楽部、志佐中学校吹奏楽部、御厨中学校吹奏楽部がそれぞれ銀賞を受賞しました。

この大会は、別名「吹奏楽の甲子園」と言われる、全国規模の大会。小学校・中学校・高等学校・大学・職場一般の5部門で開催され、演奏の技術と表現を競います。

松浦ウインドオーケストラは28人という少人数での出場でしたが、「素晴らしい演奏でした」、「表現豊かな演奏で感銘を受けました」など審査員から高い評価を受けました。



子どもたちの未来のために活用

一般社団法人白浜五地区振興会

一般社団法人白浜五地区振興会（松永正代表理事）が8月28日、志佐小学校、志佐中学校および松浦高等学校へ寄附を行いました。

白浜・岸浜・西山・白浜団地・黒汐の5つの地区で取り組まれている太陽光発電事業の収益金の一部を地域振興のために活用されており、今年度は地域内の学校に寄附を行うこととなり実現したものです。

この日は、松永代表ほか振興会役員3人が志佐中学校を訪れ、「子どもたちの健やかな成長のために役立てて欲しい」とあいさつし、寄附を手渡されました。受け取った校長先生たちは、「慎重に検討し、子どもたちのために有効に活用させていただきます」と話されました。



地域を支える大きな力

出前講座「認知症サポーター養成講座」

御厨中学校学年レクリエーションとして認知症サポーター養成講座が9月2日、御厨公民館で行われました。

認知症サポーター養成講座は、認知症のことを正しく理解したうえで、認知症のある人やその家族をあたかく見守り、支える身近な応援者を育成するために開催されています。

今回、初めて中学生向けに開催され、御厨中学校1年生27人と保護者が参加しました。寸劇や映像などを見て、具体例を交えながら認知症のある人との接し方を学びました。

最後に、中学生たちは、受講者の証であるオレンジリングを受け取り、松浦市の認知症サポーターは1,293人となりました。



体験型旅行の新しい形

NOVA サマースクール in 長崎

NOVA サマースクール in 長崎が8月25日～27日に実施され、関西・東海地区などから訪れた児童生徒および保護者ら14人が、青島地区での民泊体験をメインに市内各地を訪れました。

今回の事業は、英会話教室で有名なNOVAホールディングス株式会社と一般社団法人まつうら党交流公社の共同企画として実施されたもので、外国人講師が同行し、移動や食事の時間なども英語でコミュニケーションをとりながら松浦の自然や生活に触れました。サマースクールでの受け入れは、まつうら党交流公社でも初の試みとなりました。

参加者は、押し寿司作りや船釣り体験などを通して豊かな自然や人のあたたかさに触れ、思い出深い夏休みを過ごしました。



元寇の犠牲者を悼む

元寇記念祭実行委員会

「元寇記念祭」（鷹島町元寇記念祭実行委員会主催）が8月30日、鷹島開発総合センターで行われました。

「元寇記念祭」は、元寇で犠牲となった兵士や島民の霊を慰めるため、大正5年に村青年会が中心となって開催し、以来毎年行われています。

神崎沖海底で元寇船が発見されたことから、昨年からの海を臨むことができる同会場で開催されています。

会場には、地元の各種団体の代表者など約40人が参列し、焼香や慰霊の言葉を捧げるなど、犠牲者の冥福を祈りました。

